

# ちぬ

大阪青凌中学校・高等学校特集  
ようこそ島本新学舎へ！ 島本町のご紹介

理事長 藍綬褒章 受章  
設置校トピックス

## 大阪青凌中学校・高等学校 島本新学舎

2020年4月よりスタートする、大阪府島本町の大阪青凌中学校・高等学校新学舎。サントリーの研究所の跡地に建設され、JR東海道線島本駅から徒歩圏内とアクセス良好。天王山の麓で、豊かな自然に囲まれた環境を生かした設計となっている。

特集

# 大阪青凌中学校・高等学校 島本学舎開校と 学園創立100周年に向けて

浪商学園 理事長

大阪青凌中学校・高等学校 校長

対談 野田賢治 × 福力 稔



NAMISHO  
GAKUEN  
100th Anniversary

# CROSSTALK

対談

浪商学園 理事長

大阪青凌中学校・高等学校 校長

野田 賢治 × 福力 稔

今春、大阪青凌中学校・高等学校が大阪府島本町に移転し、来年に学園はいよいよ創立100周年を迎えます。充実した教育環境のもとで魅力ある学校づくりをどのように進めるのか。野田賢治・理事長、福力稔・大阪青凌中学校校長そして、元校長でもある西尾専務理事に語っていただきました。

## 廃校の危機を乗り越えて

～過去～ Past

—— 大阪青凌中高設立のいきさつや校名の由来など。

**野田** 1980年前半の高校進学者急増期のとき、大阪府と大阪私立中学校高等学校連合会が協力して受け入れ対策をとることになりました。浪商学園は144名を引き受け、高槻市前島地域に新たな校地を確保しました。そして1983（昭和58）年に浪商高校の分校（高槻学舎）を開設し、普通科（特進コース、普通コース）をスタートしました。



昭和57年9月高槻校舎工事中

2年後に大阪青凌高校と改称、大阪青凌中学校を設けましたが、当初から進学校をめざしていました。教員は先代理事長の友人から、旧制茨木中学（現・茨木高校）関係者を通して集め、青凌の校名は中国古典から採り、「青雲の志を凌ぐ」との意味を込めています。ちょうどそのころ、高槻市内に大学も拡大移転する話が持ち上がりましたが、最終的に大阪府泉南郡熊取町へ1987（昭和62）年に浪商高校、1989（平成元）年に大学が移転しました。

—— 男女共学化や国際コース、海外英語研修などに積極的に取り組まれたことについて当時校長であった西尾専務にお伺いします。

**西尾** 当時、男女共学で募集するには、国際コースを設けることが条件になっていました。また進学校にするには一にも二にも英語力をつけなければなりません。以前にポーランドの歌劇団が来日し、本校と交流したことがきっかけで、英語科教員が海外研修に取り組み、ハワイやニュージーランド、カナダで本格的な研修を始めました。

—— 順調に国際化を進めていましたが、廃校の危機にも直面しました。

**西尾** 学校近くにゴミ処理場があったことから2度にわたってダイオキシン問題に見舞われました。そのあおりで2002（平成14）年頃には青凌中学校の入学者が7名まで激減しました。周辺の進学塾の間で「青凌は閉校する」という、うわさが広がっていましたが、新校舎「創青館」を建設してもらうことで、学校の存続方針を明確に打ち

出すことができました。その一方、進学塾を回って情報収集し、地元の要望を受けたカリキュラム改革にも取り組みました。「進学校としての合格水準を下げることなく」、生徒や教員の愛校心を育てるようにしました。先生方には、学校目標を達成するため全ての教科に対して数値目標をつくり、PDCAの実践をお願いしました。また社会の動きを勉強をするように求め、電話の対応をはじめ私学人としてのあり方を一緒に考えるようにしたのです。そのことを地域にPRしていくことで教育機関としての信頼を回復することができました。

**野田** そのころ理事会では「いつ閉校するか」をめぐることも議論していましたね。ただ、現場は懸命に頑張っていましたので、あわてて閉校を決断しませんでした。

**福力** 私は当時、一般教員でしたので、学校改革をやり続けるしかないと思っていました。そのうち2006（平成18）年頃から生徒募集が回復していきました。

—— 島本町移転の経緯は。

**野田** 「生徒募集も回復し、学校に活気も出てきたので、閉校するにはもったいない」「大学移転も一段落したし、どこかいいところがあれば、移転したい」「できればJR東海道沿線で駅から歩いて通えるところがいい」と以前から思っていました。

いざ動き出すと、いろんな情報が入ってくるものです。そこに島本町移転の話が入ってきました。



## 地域の期待に応える

～現在～ Present

—— 進学校として進学実績向上に向けた取り組みについて。

**福力** 元校長の西尾専務理事から続けられてきた改革の流れを受け継ぎ、学校全体で取り組んできています。10年以上前の話になりますが、当時改革を進められていた京都府立嵯峨野高校に足を運んで、新入生のオリエンテーションやカリキュラム等の改変の参考にさせていただいたりもしました。

ICTの環境整備を進めるにあたっては、校地移転も大きなきっかけの1つとなりました。といいますのは、新校舎設計のアイデアを練るために、教頭先生や運営委員の先生方に東京都の複数の学校の視察にも行ってもらった際、当

# 教科書だけではない学習方法を身につけ、「もう一つ上の自分」をめざしてほしい。

時、Wi-Fi網を校内配備されていた学校に課題やトラブルが多かったのです。そこで本校ではSIMカードを入れたiPadを1人1台導入することに決定した経緯があります。

また最近では、高校2、3年生を主な対象にPlusセミナーという名称の「校内予備校」も導入しました。これについては、名称の通り、教員の授業があくまで基本で、そこにプラスするという形で、両者が連携して生徒の進路獲得にあたっています。

—— 最近の生徒募集の状況や地域の評価は。

**福力** 地元中学校を退職された教員の方に、公立中学校の募集担当をしていただいています。青凌で丁寧な教育している現状を公立中に伝えてもらう一方、地域から評価されるよう、きめ細やかな指導を行っています。今回の島本町移転で、中高ともに志願者は大幅に増えました。こ



こからが本校の実力が試される時でしょう。これからは地域の大きな期待を失望に変えないように努力しなければと思っています。

## 沿線で一番の進学校をめざして ~未来~ Future

—— 島本新校地での取り組みや今後の生徒募集について。

**福力** 島本町では、私たちはあくまでも新参者ですから、地元の学校や企業、島本町役場等との通勤通学時にバッティングした際の混雑を考慮し、思い切って朝の始業時間を9時にしました。生徒たちは7時半から登校できるよ



うにと考えています。そしてこの7時半から始業時間の9時まで、生徒たちが自由に使える朝の時間、また駅から徒歩圏内になったことによる放課後の延長時間を自分で計画的に有意義に使

てくれるように指導していきたいと思っています。一斉授業を受けるだけでなく、自分で自由な時間をマネジメントすることも大事な勉強ではないでしょうか。

青凌祭や体育祭、そして生徒会活動など、生徒が自主性を発揮できる機会をたくさん設けるとともに、学習面でも自分で課題を見つけてそれに対する考察を深める探究型の学習を進めていきたいです。ただそれらの基礎になる基礎学習力は外せません。そこについては、これまでどおりです。それはいわば不易流行の不易にあたる部分だと思っています。

—— 新しい教育目標について。

**西尾** 進学校としてどんな特色をつけ、魅力的な教育を行うのか。そのためには中高6年一貫の教育を柱にすえて、課題解決型の教育などにも取り組んでほしいです。中学校での英語教育にももっと力を入れ、可能な限り早く募集定員を60人に戻すことが重要です。グローバル社会の要請に応え、しっかりと真の読解力を身につける教育を展開していきたいですね。

**福力** 「国公立大35(京阪神5含む)、関関同立100合格」を進路目標に掲げ、全校挙げて取り組んでいます。まだ目標には及びませんが、今後も生徒が希望する進路に進めるように努めていきます。保護者からは、基礎学力を生徒にきっちりと定着させてほしいとの要望が強い。それだけではなく生徒が自分でテーマを探し、調べて発表できる力をつけさせたい。そのツールとしてiPadを活用しています。

**野田** 大阪青凌は進学一本でいこうとスタートさせました。地元の進学校の「府立茨木高校」を目標にしましたが、中途半端になってはいけません。念願の駅から歩いて通えるところに移転できましたし、「街道一の進学校」をめざしてほしいですね。

—— どうもありがとうございました。

紹介 ようこそ島本新学舎へ

対話あふれる空間づくりをめざした新学舎。

大阪青凌中学校・高等学校 教頭

向 忠彦



1

### ライジングヒル

玄関に入ると、教室棟に向かう「ライジングヒル」があります。階段の途中に、ミーティングや展示のできるスペースを設けており、研究成果の発表やダンスの発表など、使い方は自由です。

### エクセルホール

2

玄関の上がエクセルホールです。生徒たちが大勢の人の前でプレゼンテーションや発表を行う場所です。イスを電動で収納すると、ダンスなど、多目的に活動できる場所となります。ステージの背面はガラス張りになっており、太陽の光が降り注ぐ開放的なスペースです。



3

### 中庭テラス

カフェテリアと一体で利用することができる中庭テラスは、人工芝やウッドデッキを設置し、仲間と語らう「憩いの場」になります。また、中庭テラスは、周囲の廊下から見渡すことができるため、クラブ活動の発表など、さまざまなイベントにも利用できる場になっています。



### カフェテリア

4

2階のカフェテリアには、焼きたてのパンが提供されるコーナーも設けます。また、座席の一部に、ボックス席を設置するなど、放課後には勉強やクラブのミーティングなどにも使えるように工夫しています。



## 体育館

6

天井が高く、バスケットボールのコートが2面取れる面積があり、冷暖房も完備しています。2階部分には、ランニングで周回できるラビットコースがあり、また、2階屋外には弓道場を併設しています。



弓道場



5

## 各フロアの教室

教室棟は、中庭を取り囲むように普通教室と特別教室が配置されています。教室の廊下側には壁がなく開放的になっています。各教室には、ホワイトボードと短焦点プロジェクターが設置されています。

## 島本町のご紹介

## 利便性の高さと、豊かな自然と多くの名所旧跡が共存するまち、島本町。

大阪青凌中学校・高等学校 教頭

南藤 栄次



**大** 阪府の北東部に位置する島本町は、古くから京都と大阪を陸路(旧西国街道)、水路(淀川)で結ぶ交通の要衝として栄えました。現在も東海道新幹線、阪急京都線、JR東海道本線、名神高速道路、国道171号線などの主要幹線が通る利便性の高い地域です。

北に西山山系を望み、東には木津川、宇治川、桂川の三川が合流した淀川が流れ、いまでも豊かな自然が多く残っています。町内の水無瀬神宮に湧き出る水は、「離宮の水」と呼ばれ、大阪府内で唯一環境省が認定する「全国名水百選」に認定されています。



また、島本町には多くの名所旧跡が存在します。JR島本駅近くの桜井駅跡は、延元元(1336)年の湊川の戦いにおいて、戦地に向かう楠木正成が、嫡男の正行に遺訓を残して河内国へ引き返させた場所とされ、「楠公父子訣別の地」として広く知られています。

また、島本町と京都府の境に位置する天王山は、「天下分け目の天王山」の語源になった山崎の合戦(天王山の戦い)があった場所です。織田信長を討った明智光秀と、その仇討ちを果たそうとする羽柴秀吉が、天王山で激突し、勝利した羽柴秀吉が後に天下統一を成し遂げることになる、歴史の転換点の舞台となりました。

## 理事長 藍綬褒章 受章

### 理事長ご挨拶

この度、図らずも藍綬褒章受章の榮譽に浴することができました。藍綬褒章は、教育、福祉、芸術、スポーツ等の分野で長年にわたり社会に貢献した人に授与されるものです。今回の受章は、私個人が受章したのではなく、浪商学園が長年にわたり多くの有為な人材を世の中へ輩出することによって果たした社会貢献に対して与えられたものだと思います。

浪商学園は来年創立100周年を迎えます。これはひとえに、創立以来約100年にわたり学園を支えていただいた先人の努力と献身の賜物であり、設置校の園児、生徒、学生、保護者の皆さまや、卒業生、そして教職員はじめ関係各位のおかげであると確信しています。

今回の受章を励みに、浪商学園を支えていただいている皆さまと共に、学園発展に尽くす所存です。今後とも変わらぬご支援をお願いして挨拶いたします。



## Topics



### 大阪体育大学（大学院・体育学部・教育学部）

#### ●インカレ7連覇のハンドボール部女子監督ら4名に大島謙吉賞

昨年の全日本学生選手権で前人未だの7連覇を達成したハンドボール部女子監督、楠本繁生体育学部准教授ら4名に1月、大島謙吉スポーツ賞が贈呈されました。この賞は本学学生のスポーツ指導に顕著な業績を残した指導者が対象。初代副学長で1964年東京五輪選手団長を務めた大島謙吉氏の功績をたたえて、本学が創立50周年を迎えた2015年に創設されました。

令和2年1月9日の新年互例会の場で授与式があり、功労賞の楠本准教授のほか、奨励賞が栗山佳也体育学部教授（陸上競技部男子部長）、松尾元太体育学部講師（サッカー部男子監督）、石居宜子体育学部講師（サッカー部女子監督）に贈られました。

昨年、栗山部長は日本学生陸上競技個人選手権で坂本達哉選手（大学院博士前期課程1年）が男子やり投げで優勝。松尾監督はユニバーシアードの男子サッカーで田中駿汰（体育学部4年）、林大地（同4年）両選手が代表チームに参加し優勝。石居監督はユニバーシアード女子サッカーで今田怜那選手（同4年）が代表チームに加わり準優勝しました。また、野田賢治理事長、岩上安孝学長が授与式に先立つ新年のあいさつで、ともに「浪商学園創立100周年へ向けて2年を切った。今年はどうに100周年を迎えるかを考える重要な年になる」などと話しました。

#### ●スポーツ庁委託事業「運動部活動改革プラン」公開シンポジウムを開催

スポーツ庁委託事業の「運動部活動改革プラン」公開シンポジウムを令和2年1月24日、本学L号館で開催しました。

本学は2019年度に同庁から部活動改革策の検討や効果の検証の委託を受け、昨年7月、教職員による合同プロジェクトチームを結成。教員をめざす学生に部活動の指導法などを教え、「部活動指導員」や「外部指導者」などとして学校現場に教育委員会などを通じて派遣するシステム作りに、全国の大学に先駆けて取り組んでいます。



シンポジウムは学生や教育関係者ら約350人が参加しました。プロジェクトチーム研究責任者で本学学長補佐の藤本淳也体育学部教授のあいさつの後、パネルディスカッションには部活動指導員や外部指導者などとして中学校で部活動を指導する本学の学生、大学院生4名が登壇。小林博隆体育学部准教授の進行で部活動の指導を通じて得るものや課題などについて話し合いました。

続いて大阪府、市と熊取町の教育委員会関係者が現状を報告。生徒の引率も可能な部活動指導員は、学生には、大阪府立高校では認められていないが、大阪市立中高では多数が所属していることなどが説明されました。最後に一般社団法人アスリートネットワーク副理事長でアーティストックススイミング五輪銀メダリストの巽樹理さんが「一大学で社会的課題の部活動改革に取り組むことを高く評価したい」などと総括しました。

## 大阪体育大学浪商中学校・高等学校

### ●税に関する取り組み

令和元年12月3日、「税の作文」や「租税教室」など、これまでの取り組みが評価され、泉佐野税務署の署長から校長に国税庁長官名の感謝状が手渡されました。近畿エリアでも2校しかいただけないものという非常に名誉ある賞です。今後も税に関する取り組みに対し積極的に取り組んでいきます。



### ●浪商中学校 50 周年記念講演

令和元年11月18日、本校の卒業生で大阪体育大学の藤原敏行准教授に講演をしていただきました。今の生徒にぴったりの内容で生徒のやる気スイッチが入りました。講演後は浪商中学校の50周年を振り返るスライド上映を行い、会場は盛り上がりました。

### ●第28回 JOC ジュニアオリンピックカップ（ハンドボール）

埼玉県さいたま市で、令和元年12月23日～26日の日程で開催されたジュニアオリンピックに大阪府選抜として本校よりスタッフ2名、選手7名が選出されました。その結果、大阪府選抜は23年ぶり2回目の優勝を収めました。また、本校の3年生が今大会の最優秀選手に選ばれました。埼玉県での開催にもかかわらず多くの保護者の皆さまが応援に駆けつけてくださいました。



### ●新生 浪商高校女子バレーボール部

昨年度まで近隣の府立高校で長年に渡り、バレーボールの指導を続けてこられた橘先生が、令和元年6月に浪商高校女子バレー部の部活動指導員として正式に就任しました。橘先生の情熱溢れる指導のもと、新生浪商高校女子バレーボール部は、7月に開催された春の高校バレー地区予選で代表権を獲得し10月の決勝ラウンドに初進出、11月の新人大会では4部で優勝し、3部に昇格しました。

また、令和2年2月1日、2日には「第1回浪商杯」として、中学校女子バレーボール大会を開催しました。「ひまわりドーム」ほか近隣中学校の3会場で、堺以南の41校510人が参加し、2日間、熱戦が繰り広げられました。大会に参加した中学生の中から、将来、浪商高校女子バレーボール部で活躍してくれる選手がたくさん出てくることを願います。新生浪商高校女子バレーボール部の活躍にご期待ください。

## 大阪青凌中学校・高等学校

### ●探究的学びの実践

さまざまな社会の変化に対応する資質や能力を育成するために、いま、「探究学習」が注目を集めています。本校では、高校1年生で『ENAGEED』、高校2年生で『コーポレートアクセス』を活用し、体系的に学習を進めています。高校1年生は、日常の違和感から課題を発見し、その解決に向けたプレゼンテーションを行うなど、自らの関心を始点に、さまざまな力を育みました。また高校2年生は、実際の企業から課題をいただき、それに応えるべくチームで検討・発表しました。この発表では、実際に(株)パナソニックの担当者とSkypeでつながり、その場で講評や助言をいただくなど、現在の学習と社会とのつながりがより顕著に感じられるものでした。これらの経験を通して生徒たちがさまざまな力を育むことで、社会に貢献する人材となっていくことでしょ。



### ●イギリス英語研修

今年度は、高校1、2年生の希望者21名で、令和元年7月22日～8月7日の17日間、イギリスのRochesterという町に語学研修に行きました。その研修には、世界中から150人を超える生徒たちが集まりました。生徒たちは、授業では街中でのインタビューやプレゼンテーションなどを通して、英語力を大きく伸ばすことができました。また、授業やアクティビティの中でさまざまな国から来た生徒たちと英語でコミュニケーションをとる楽しみを知ったり、LondonやCanterburyなどの有名都市を訪問したりと、とても充実した日々を過ごしました。はじめは、英語を上手く話せなかったり、なかなか積極的にコミュニケーションを取れなかったりと、悩むこともありましたが、最後には他の国へ帰る仲間との別れを涙を流して惜しんでいました。参加した生徒たちは現在、英語学習にさらに力を入れ、この研修で身につけた積極的な姿勢を発揮しながら、学校生活を送っています。

## 大阪体育大学浪商幼稚園

### ●教職員専用駐輪場完成

以前から要望があった駐輪場が夏休みに完成しました。南園舎の裏を整地し、30台以上の自転車や原付スクーターの駐輪が可能となりました。人感センサーの電灯を4灯設置したことで、夜間での出し入れも楽になったと好評です。設備に限らず、教職員にとって快適で働きやすい職場、働きがいのある職場作りをこれからの目標としていくことで、保育の質の向上にもつながることでしょ。



### ●入園案内パンフレット刷新

10数年ぶりに入園案内を新しく作成しました。創立70周年記念誌をベースに、写真を多く使ったカラフルで見やすいパンフレットができあがりしました。教育方針、教育内容(5領域を中心に)、年間行事、特色ある保育、イメージプログラムなどを分かりやすく伝える内容となりました。今年度の見学会から配布しましたが、保護者の皆さまに高い評価をいただきました。



# ちぬ

CHINU



特集

## 大阪青凌中学校・高等学校 島本学舎開校と 学園創立100周年に向けて

浪商学園 理事長

大阪青凌中学校・高等学校 校長

対談 野田 賢治 × 福力 稔

大阪青凌中学校・高等学校特集

- ようこそ島本新学舎へ！
- 島本町のご紹介
- 理事長 藍綬褒章 受章
- 設置校トピックス

学校法人浪商学園 学園報 ちぬ No.057 令和2年3月26日発行

発行者：学校法人浪商学園 企画室／発行責任者：石川朋広  
〒590-0496 大阪府泉南郡熊取町朝代台1-1  
TEL 072-479-3111 FAX 072-453-8972  
学園ホームページ：<https://www.namishogakuen.jp/>  
印刷・製本：株式会社毎日新聞大阪センター

### 大阪青凌中学校・高等学校 高槻旧校舎

1983(昭和58)年、浪商高校の分校(高槻学舎)として、高槻市前島に開設された旧校舎。淀川沿いの緑豊かな環境に見守られ、37年間で約7千8百人の生徒が学んだ。



NAMISHO  
GAKUEN  
100th Anniversary

